

講義名	卒業研究
講義コード	44107
担当教員	加藤 曜子
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
備考	

ゼミ
加藤曜子ゼミ
学部
人間社会学部
学科
人間健康学科
演習名
子ども家庭福祉

概要説明
<p>子どもと家庭に関する社会福祉問題や関連する話題をテーマに学ぶ。通常、入門的な新書を輪読したり、先輩から話を聞く機会を設けている。</p> <p>取り上げたのは子どもの貧困、子どもと障害福祉、子どもの遊び、子どもと親との関係についてなどである。</p>

学位
学術博士（社会福祉）

教員よりの要望
楽しく、学び、意見が言え、プレゼンテーションができるように努める。

教員英字氏名
YOKO KATO

研究室
5417

最終学歴
大阪市立大学人間福祉学科後期博士課程終了

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>児童虐待防止協会理事、厚生労働省社会福祉審議会児童部会委員、兵庫県社会保障委員会委員、虐待アドバイザー、大阪市社会保障審議会委員、尼崎市社会保障審議会委員などをつとめる。</p> <p>子ども虐待防止学会評議員、日本子ども虐待防止学会制度検討委員、日本社会福祉学会査読委員、子ども福祉学会所属</p> <p>児童虐待防止に関連する研究、 『児童虐待リスクアセスメント（中央法規出版）』『児童虐待防止ネットワーク』（中央法規）共著省略、「児童虐待再発要因研究」（文部科学研究）「ネグレクトに関する支援類型化研究」（文部科学研究）「アセスメントに関する研究」（文部科学研究）「虐待の重症度化に関する研究」（厚生労働省研究）など。</p>

主な卒業論文のタイトル
<p>「ひきこもりについての援助の一考察」、「里親制度、里親養育推進に関する研究」、「ITと呼ばれた子からみる児童虐待」、「少年非行における小学校の対応と福祉対応」、「学生による児童虐待防止活動への取り組み」、「高齢化社会に向けた福祉車両の今後」、「知的障害児の性教育」、「現代の子育て－インターネットにみる－」、「ドメスティックバイオレンスの実態」、「少年犯罪－親を殺す子ども」、「貧困母子家庭について」、「赤ちゃんポストに足りないもの」、「こどもと携帯電話」、「父親の育児参加」、「少子化問題における一考察」、「子どもと携帯電話のつながり」、「ボランティアの意義－ボランティアで得ることができたもの」、「ネグレクト（真奈ちゃんはどうすれば死なずにすんだか）」、「赤ちゃんポスト「子どもをいじめから守るために」、「手はたたくものじゃないよ」、「高校生、大学生の虐待防止啓発の通いについて」、「児童虐待の認識度について」、「のぞまない妊娠について児童虐待防止啓発」、「オレンジリボン運動の活躍」、「児童虐待防止の有効な啓発活動」など</p>

趣味・特技
絵画鑑賞、ピアノ

所属

所属学会
日本社会福祉学会、日本子ども虐待防止学会、日本子ども家庭福祉学会、日本地域福祉学会、日本心理臨床学会、日本家族療法学会、日本ストレスラウマチック学会、日本ソーシャルワーク学会、日本司法福祉学会

専門分野
子ども家庭福祉 対人援助

選考方法
やる気のある学生、何事にも積極的に取り組む学生

担当科目
児童福祉入門、児童福祉論、ソーシャルワーク総論

備考

評価方法
出席及び、レポート